

2023年～24年例会作品

第286回 例会

劇団NLT ミュージカル『O.G.』

新宿・歌舞伎町に残る最後のキャバレー「ミラクル」昭和の名残を残すこの店もあと1週間でその灯が消えることになっていた。スター歌手を目指し上京し、38年。この店のシンガーをしている2人の女性。明日を夢見た若かりし頃を過ぎ、幸せや愛を求めながらも、歌うことを選んできた彼女たちの人生、場末の歌手人生が終ろうとしている……。そんな彼女たちに起こった「ミラクル」それは……。

脚本・作曲/まきりか
演出/本藤起久子
出演/旺なつき 阿知波悟美
池田俊彦

24年5/29 水
18:30開演



第287回 例会

秋田雨雀・土方与志記念

青年劇場『星をかすめる風』

1943年、福岡刑務所で看守の杉山が何者かに殺された。配備されたばかりの若い看守、渡辺は犯人の捜索を任せられ聴取を始める。聴取を進める中で「平沼東柱」こと、「尹東柱(ユンドンジュ)」という若い詩人が関係していることを確信する。そんな中、医師が派遣され「体調不良の囚人」を治療する。その治療を受けた尹東柱は次第に体調を崩していく。弱りながらも自らの詩「星を数える夜」を口ずさむ。そして……。

原作/イ・ジョンミョン
脚本・演出/シライケイタ
出演/矢野貴大 北直樹
葛西和雄 広戸 聡

6/25 火
18:30開演



富士山演劇鑑賞会とは

素晴らしい演劇を定期的に鑑賞しようと「会費」を持ち寄り、自分達の手で運営している会です。1975年に創立しました。今までに280回以上の観劇を続けています。

営利を目的としたプレイガイドや興行ではなく、みんなで選びみんなで運営し、演劇を楽しんでいます。

いつでも、どなたでも入会できます

3名以上でサークルを作って入会が基本です。一人でも入会できます。事務局にご相談ください。

会員制の会なので、このお芝居だけという入会はできません。

運営は1年単位を基本としています。
一年以上は会員として継続してください。

入会すると

月々の会費で年5、6回の観劇ができます。
年に一回サークルの仲間と「運営サークル会」に参加して、会員を増やして劇団を迎える準備をします。

●観劇の会場はロゼシアターです。

入会金・会費

- ◆ 入会金 **2,500円**
- ◆ 会費(月額) **2,800円** (18歳未満1,500円)
会費は決められた日までにサークルで一括して納入します。

問い合わせ・申込み先

富士山演劇鑑賞会

〒416-0917 富士市元町12-26 田中ビル101号

TEL 0545-63-9201

FAX 0545-62-1687

http://web.thn.jp/fj_simingekijou/



2023年～24年



文学座
五十四の瞳



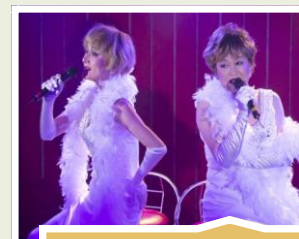
劇団民藝
ある八重子物語



イツフォーリーズ
洪水の前



劇団前進座
くず～い屑屋でござい



劇団NLT
ミュージカル O.G.



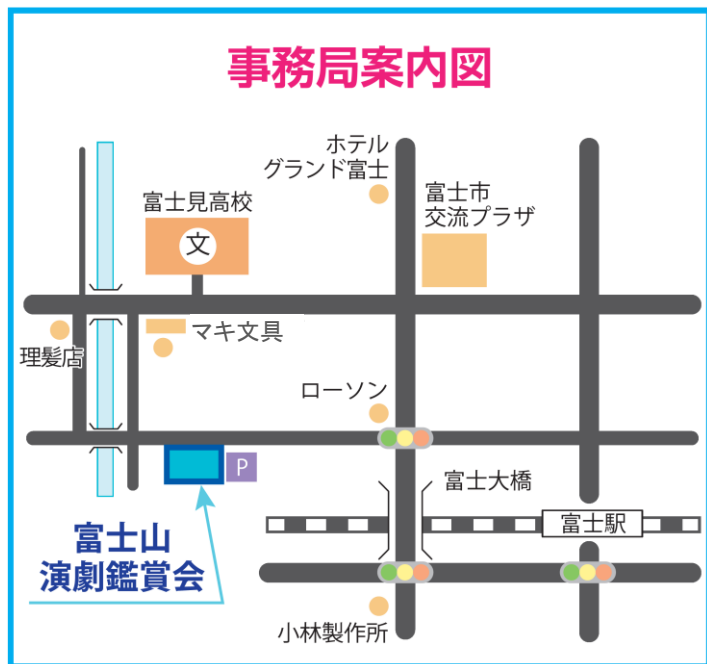
青年劇場
星をかすめる風

入会申込書

年 月 日

サークル番号	サークル名	
氏名		男・女
住所	〒 -	
TEL() -	携帯() -	
氏名		男・女
住所	〒 -	
TEL() -	携帯() -	

受付時間:13時~17時
(土・日・月・祭日・例会日の翌日は休み)



2023年~24年例会作品

第282回 例会

文学座『五十四の瞳』

戦後間もない、瀬戸内海の小さな島、西島。砕石業しかないこの島唯一の学校「家島朝鮮初級学校」で教師をしている柳仁哲(ユ・インチョル)、新任の女教師・康春花(カン・チュンファ)の指導の下で日本人、朝鮮人の分け隔てなく楽しく学ぶ。が、GHQが朝鮮人学校の封鎖を宣言。これに抗議する大規模デモが神戸で起こる。俺たちの学校がなくなると少年たちは、デモに参加するため内緒で島を飛びだしていく。

原作/鄭義信
演出/松本祐子
出演/松岡依都美 頼経明子
神野崇 越塚学

9/19 (火)
18:30開演



第284回 例会

イツフォーリース ミュージカル『洪水の前』

1980年初演、原案はミュージカル「キャバレー」の原作ともなったジョン・ヴァン・ドゥルレーテンの「私はカメラだ」。舞台は1930年旧満州の大連。日本の統治下にあり、自由港を持つ異国情緒あふれる街で自由奔放に生きる男女。自分たちの自由とは何かを口では求めるものの、現実を見ずに生きようとする若者たちの生きざまを描く。

原作/ジョン・ヴァン・ドゥルレーテン
「私はカメラだ」(菅原卓翻訳)
作/矢代静一 作詞/藤田敏雄 演出/鶴山仁
音楽/いずみたく 編曲・演奏/吉田さとる
出演/ラサール石井 宮田佳奈 藤森裕美

24年1/24 (水)
18:30開演



第283回 例会

劇団民藝『ある八重子物語』

神田川が隅田川へと流れ込み、戦前から戦後にかけて花街として栄えた柳橋の古橋医院。ここに集う人々は院長を筆頭に事務方、看護婦、女中までが水谷八重子に心酔する大の新派マニア。患者の身の上話もたちまち「女系図」風の筋書きに。そこへ八重子そっくり「音楽のような声」を持つ芸者花代の登場、恋愛事件も涌き起こって、大騒動。民藝初登場の井上戯曲です。

作/井上ひさし
演出/丹野郁弓
出演/有森也美(客演) 桜井明美
千葉茂則 篠田三郎(客演)
藤巻るも

12/13 (水)
18:30開演



第285回 例会

劇団前進座『くず〜い屑屋でござい』 —古典落語「井戸の茶碗」より—

江戸の町に正直清兵衛という働き者の屑屋が裏長屋を回っていると、家に代々伝わる仏像を買ってくれと侍の娘しずが頼みこむので断り切れず二百文で引き取ることに。もしこれが売れた時はそのもうけは半分にしようと約束した。その仏像を若いお侍が買い取り、仏像を磨いていると中から五十両の金が出てきたというので屑屋はびっくり……。

台本・演出/鈴木幹二
出演/柳生啓介
他5名 未定

3/24 (日)
18:30開演

